九州地方

大規模災害時のICT活用に関するワーキンググループの実施とITS関連セミナーの開催

（一般社団法人 九州経済連合会）

○この取り組みを行うことにした背景/理由

（一社）九州経済連合会では、九州の産業界をICTにより活性化する活動を実施している。平成24年度は、平成23年度の東日本大震災を受けて“大規模災害時のICT活用による備え検討WG（ワーキンググループ）”を立上げ、九州における災害への備えの検討を行っており、そのテーマにもリンクさせ、車に限定しないナビゲーションについての幅広い適応領域の可能性を探るために、多方面の有識者にお集まりいただき本セミナーを開催した。

○セミナー内容

スマートフォン等のモバイル端末の普及に伴い、これを活用して人の動きを支援するナビゲーションや、その応用に関する検討が行われている。本セミナーでは、このようなICT関連技術の潮流と、防災・減災などの時代背景のもと、ヒューマンナビゲーションの可能性について考える。

【第1部　特別講演（12：30～13：30）】
「IT融合による被災インフラの復旧とメンテナンスの支援」
講師：東京大学大学院 情報学環 特任教授　石川 雄章 氏

【第2部　座談会（14：00～16：30）】
「ヒューマンナビゲーションの可能性～災害に強い九州を目指して～」
パネリスト及びコーディネータ：
九州大学大学院　工学研究院 教授　塚原 健一 氏

（株）ゼンリン　経営戦略室 マネージャー　渋谷 健 氏
西鉄情報システム（株）ソリューション本部 部長
浦 正勝 氏
福岡V－LOWマルチメディア放送実験協議会 事務局
仁平　成彦 氏
企画主催：
（社）九州経済連合会 情報通信委員会、
九州IT融合システム協議会（ES－Kyushu）
後援：
（社）九州テレコム振興センター（KIAI）、
NPO法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）

○目的・目標（期待される効果など）

九州地域における情報通信関連産業の活性化。